

ゆずりは通信

第38号 令和3年8月1日

(年1回発行)

発行：ゆずりはの会事務局

電話：0565-35-7182

Eメール：takekaki@hm8.aitai.ne.jp

ホームページ：

<http://www.hm9.aitai.ne.jp/~warabino/>

月に1回を目標に開催している定例会の概要を記してあります。

ゆずりはの会 2020年3月 定例会

3月18日(水) 午後1時30分～ 福祉センター 36会議室 9名が参加

内容 * ゆずりはの会 来年度の進め方

会を継続するとしたら、どういうところを工夫・変更したらよいか、アイデアを話し合った。

1. 会員の皆さんがそれぞれ話題を提供したらどうかという話になり、以下のようなアイデアが出された。そうした方向で、今後も続けてゆくことになった。
年会費1000円は、次回に集める。
2. 国・厚生労働省は、認知症について、共生と予防を車の両輪として施策を推進する、としている。
親が認知症だったこともあり、関心をもって勉強している。今日は関係する資料を配布するので、保管をしておいてください。次の機会に、ポイントを説明します。
3. 自分の経験を話し、そこから話を広げるとわかりやすいので、自分のやってきたことを紹介したい。
4. 豊田市でも、認知症の人の行動について多くの情報を持っているが、それらを解析して、参考になる部分を市民に知らせてほしい。
5. 豊田市周辺の市で、様々な福祉政策が行われている。それらを豊田市と比較して、豊田市の現況を説明してもらえるとわかりやすい。
6. 私の人生ノートを作ろうという提案がある。この中の一項目、例えば一枚の写真とか、思い出を取り上げて語るのも話題提供になるのではないかな。
7. 地域でいろいろな活動に参加させてもらっている。また子供の育て方について、変わった子育てをしている幼稚園の話も聞く。そうした話をする事ができる。
8. 豊田市には、充実した出前講座があるので、これを利用する方法がある。

ゆずりはの会 2020年6月 定例会

6月17日(水) 午後1時30分～ 福祉センター、 36会議室 9名が参加

内容

コロナウィルス感染防止のために、外出を自粛していて、久しぶりに出合った。お互いの近況を報告した。

- * 特別定額給付金: 10万円の事。マイナンバーカードを使い、オンライン申請した。
5月の末には振り込まれた。制度は、生きている。
- * 主ふ業に精を出していました。今は妻が家長です。
- * ゆっくりとした毎日を過ごした。コロナウィルス後に、社会は大きく変わる度楼
自分は何をやれるか考えていた。

- * ファクトフルネスと言う本を読んだ。
何となく持っていた、固定観念・先入観がいかにも間違っているかを教えられ、目からうろこの
思いを強くした。
- * タイの友人から、コーヒーを買っているが、当分発送できないとの連絡があった。
こんな事にも影響するんだと、改めて

- * 主人を介護しているが、次から次へと、思いがけないことが起こります。
- * 今まで体を動かす毎日だったのに、そう言った作業場へ行くことが、できなくなり、運動不足を
感じている。出来る限り多く歩くことを心がけて来た。
- * 外出できないので、家の中で楽しく過ごすことを心がけている。午後にコーヒータイムを設けた。
夫婦間の会話が多くなった。
- * 農業に専念している。他の人とのディスタンスは、自然に確保されている。
手術はうまくいって、腰の痛みは良くなった。

ゆずりはの会 2020年7月 定例会

7月15日(水) 午後1時30分～ 福祉センター、 36会議室 9人が参加

- * 認知症について、栗山さんからお話がありました。
- 1. 国の方針があります。「認知症施策推進大綱」
【基本的な考え方】
認知症の発生を遅らせ、認知症になっても、希望をもって日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進
こうした基本的な考え方に基づいて、
① 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援
② 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会活動支援 など
- 2. 豊田市
上記のような国の方針を展開すべく、いくつかの施策が実施されている。
例えば、【認知症高齢者等個人賠償保険】
認知症の人が徘徊時の事故などで損害賠償を請求された時の保証を保険にて対応
など
- * 「第8次豊田市総合計画 概要版」について 林さんから説明がありました
全34ページの冊子が作成されているが、
これに向かって、2017年度からの4年間で、何に取り組むかが説明されている。
- * 2020年度の ゆずりはの会 の会費を集めました。

ゆずりはの会 2020年9月 定例会

* 鳥居忠雄さんが話題を提供くださいました。

- ① 鳥居さんは、およそ6年間、奥さんの介助・介護をしました。
脳梗塞などの病気を患い、認知症を発症したので、大変苦労した。
- ② その後は、認知症予防とか、認知症に対する適切な対処とかを啓蒙する活動をしています
- ③ 「ご家族の徘徊が心配な方へ」のチラシにあるように、豊田市が実施している認知症家族への支援活動の説明がありました。
- ④ 認知機能を測るための、ペーパーテストを行いました。

* 後日鳥居さんから提案がありました。

話題を提供いただいたときに、時間が来たので、話を途中で打ち切られてしまった。鳥居さんとしては、もっと話したいことがあったのに、残念だったとのこと。「ゆずりはの会は、始まる時間が不明確で、ともすると30分くらいたってから始まる。時間通りに始められるようにしたらどうか。」というのが鳥居さんの提案です。

ゆずりはの会 2020年11月 定例会

11月18日(水) 午後1時30分～ 福祉センター、 36会議室 7人が参加

内容

- * 豊田地域医療センター「在宅医療のご案内」のチラシを見ながら、活動内容を学んだ。
在宅医療支援センターという組織があり、訪問診療担当の、医師・看護師がそろっている地域医療センターの、関係者の講演会については、来年の9月に、連協で、「資質向上事業」という集中の講演会を企画している。
メインテーマが、SDG'sであり、その17項目の中の3つの項目を選んで、講演会などが開かれる。この一つとして、地域医療センターの在宅医療が取り上げられることになった。
- * 篠田節子さんの雑誌への投稿「“絶好の死に時”があるのではないか」の紹介
「リビングウィル」に掲載された記事が紹介された。
篠田さんは認知症の母親の世話をしている。自らもがんを患っている。父親を介護した。そうした経験から、「人も 他の生き物と同様、生きて、寿命が尽きて、死に、次世代に取って代わられる存在だ、その当たり前前かが忘れられ、自然な死のサイクルが歪められている。人には“絶好の死に時”があるのではないか」と主張されている。

ゆずりはの会 2020年 12月定例会

12月16日(水) 午後1時30分～ 福祉センター、 36会議室 9人が参加

内容

- * 「きずなの会」のパンフレットを見ながら、活動内容を学んだ。
きずなの会は、一人暮らしで、家族・親戚などのからのサポートを得られない人を対象にして、身元保証、生活支援や、葬儀納骨などの、サポートをしてくれるNPO法人。
その活動内容を記したパンフレットを見ながら、話し合いをした。
- * 自分史を作成するとしたら、についての話し合い
自分史を作ろうと考えても、実際に何から始めたらよいかわからないことが多い。そこで自分の過去を振り返って、30項目くらいの主な出来事をリストアップする。これに枝葉をつけてゆく、つまり 残っている写真や書き物を集めてゆく方法はどうか、と提案された。

ゆずりはの会 2021年5月 定例会

5月19日(水) 午後1時30分～ 福祉センター、 36会議室で 9人が参加

内容

1. コロナワクチン接種 豊田市の状況

テレビや、新聞で、各地のワクチン接種の様子が報道されているが、豊田市では、市民への情報提供が少ない。

感染症予防課という特別な課を作ったくらいだから、一生懸命にやっているとは思うけど、市民の目線に立っていないように思う。

かかりつけ医で摂取してくれるかどうかははっきりしていない。

我が家では、家内は、かかりつけ医で接種してくれるといわれ、すでに予約した。定期的に通っている人はやってくれるが、たまに行くような人はだめらしい。

2. ワクチンを打った方がよいか、打たない方がよいか

国や自治体は、接種を進めているが、違った意見の人もある。ワクチンを打っても全く効果がない、副作用が大きい。

逆にコロナウィルスに感染してしまうという人もある。

3. 本の紹介

「社会的処方」～孤立という病を地域のつながりで治す方法～
西智弘、藤岡聡子著

4. 本の紹介

「金子みすゞの童謡を読む」 ナーヘルド・アルメリ著

シリヤから日本に留学した若い女性の博士論文を本にしたもの。

金子みすゞが尊敬した、西條八十や、北原白秋の作品との対比を行いながら、みすゞの詩の特徴を掘り下げている。

ゆずりはの会 2021年7月 定例会

7月21日(水) 午後1時30分～ 福祉センター 10人が参加

内容:

1. 矢作新報で紹介された宇野真之・浩子夫妻の闘病生活について、詳しい状況が紹介された。豊田地域医療センターの在宅医療の仕組みを使って、165日間、自宅で過ごした。

2. 雑誌「やすらぎ」に掲載された記事の紹介

「健康な体の自分作りを」 松田行秀

「祈る医師 祈らない医師 ホリスティック医療の明日」 要明雄

3. ポラ連資質向上「暮らしの中のSDGs」

9/2, 9/9, 9/16の3日間、連続講座が行われる。

とくに 9月16日(木)10時～ には参加しましょう。興味のある友達を誘いましょう。

在宅医療 「みんなで知ろう。とよたの在宅医療と看護」

近藤敬太医師、加納美代子看護師

4. 喜楽定期独演会

豊田市の哲学カフェに参加している演者が開催。安城市で活動、